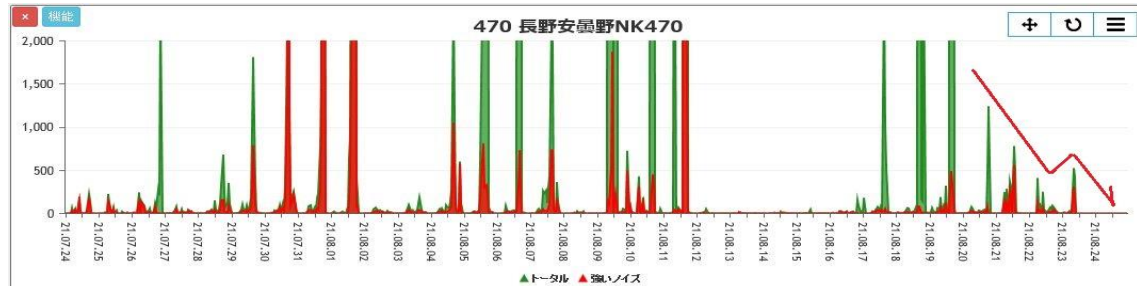


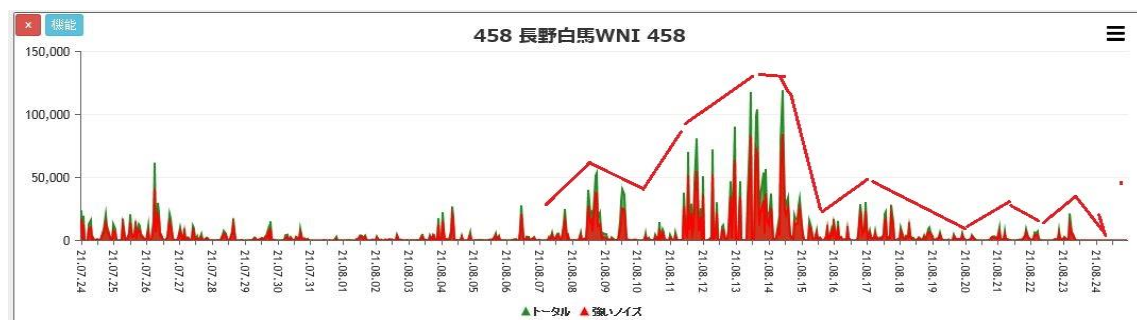
1、中部～関西の同期した減衰について

中部、東海地区の多くの観測点に、ここ1週間から数日の期間に一斉に同期した減衰が見られます。いずれもデータは小さいものですが伊勢、神戸、広島、高知などの長期大型データの関連も考えて、また本日8月23日が月齢14で満月になることもあって念のため注意が必要です。以下に関連のデータを載せます。(いずれも30日間データ)

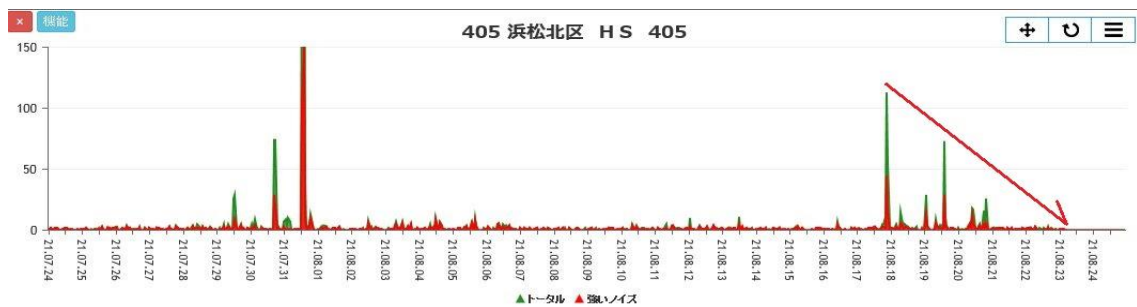
長野 安曇野 30日間データ



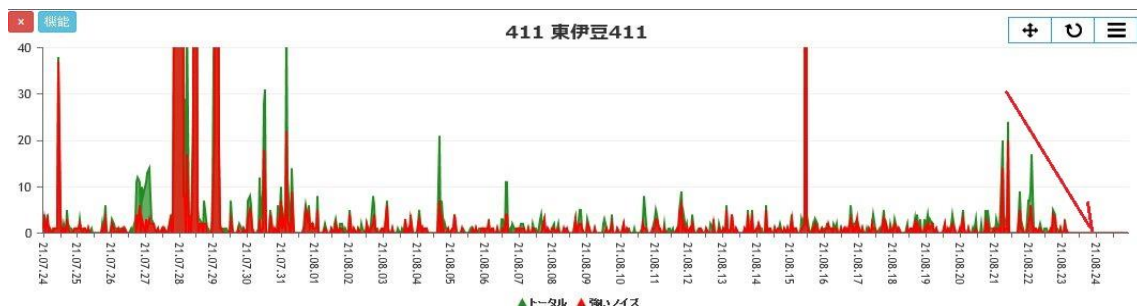
長野 白馬



浜松北区 405



東伊豆



御前崎



豊橋 244



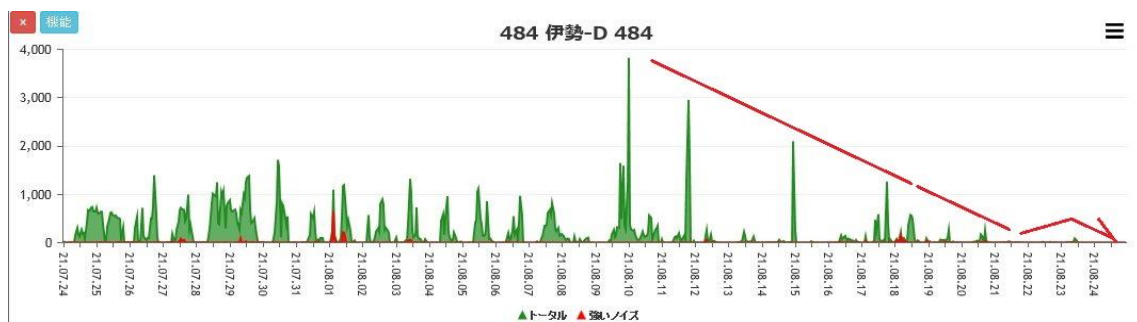
豊橋 345



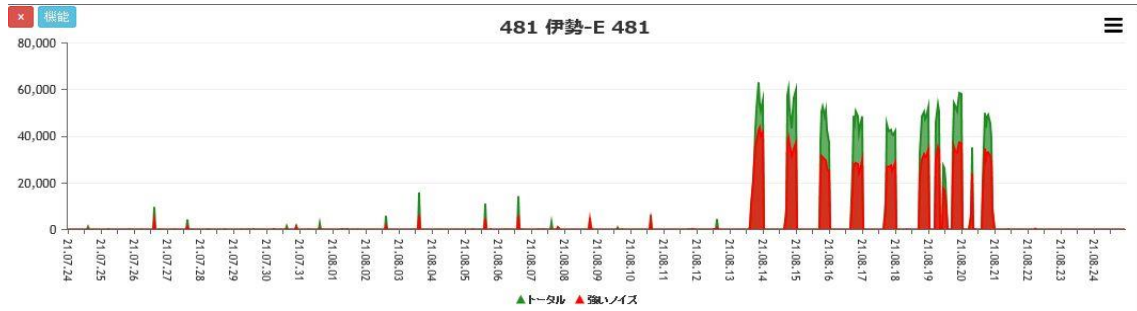
関西地区 和歌山大地



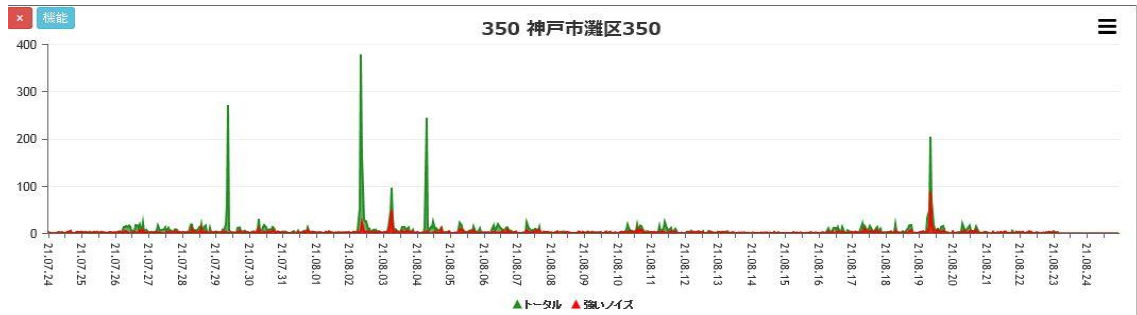
伊勢D484



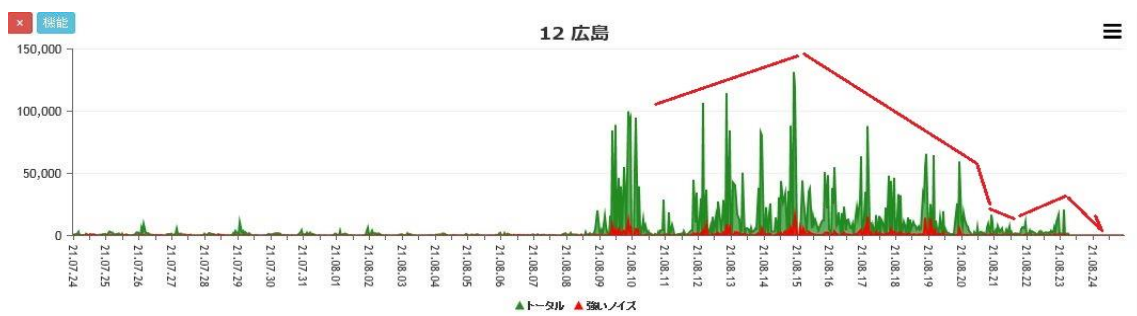
伊勢 E481



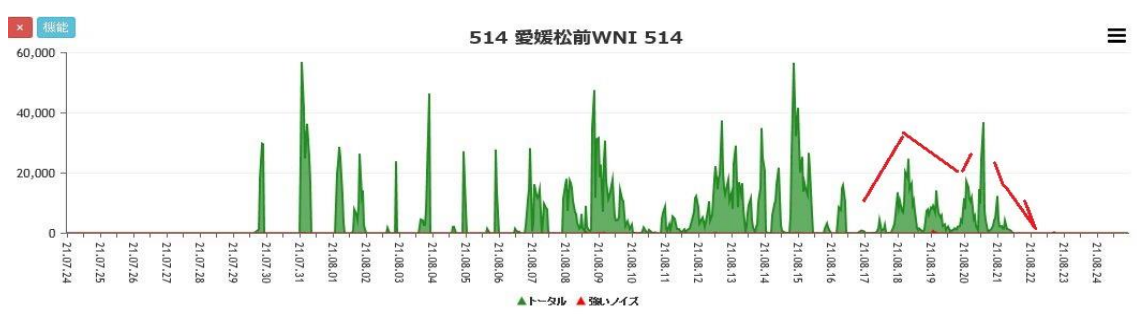
神戸市灘区



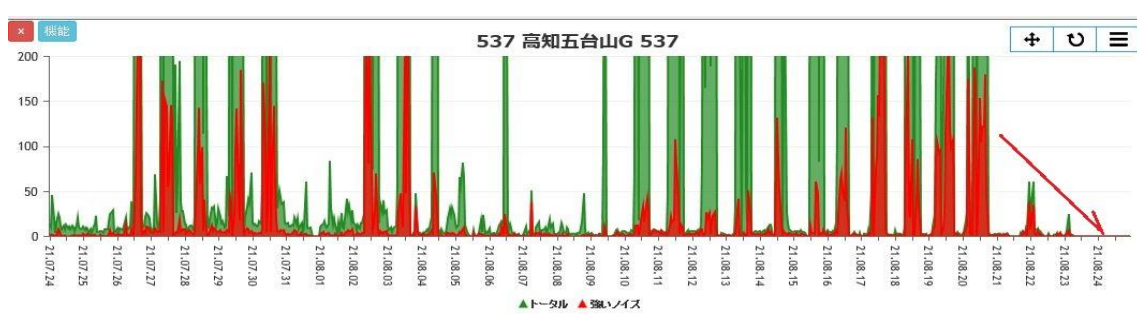
中国、四国地区 広島



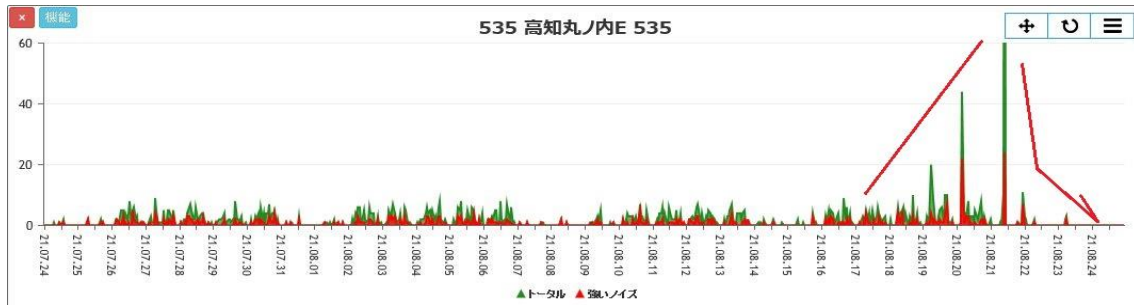
愛媛 松前



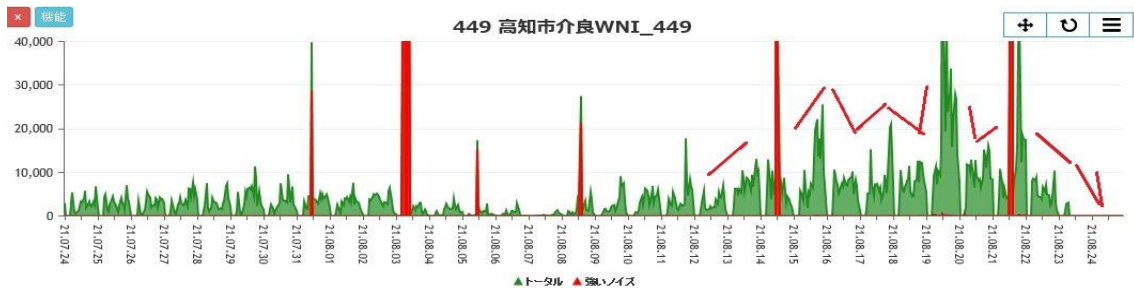
高知市五台山



高知市丸の内



高知市介良

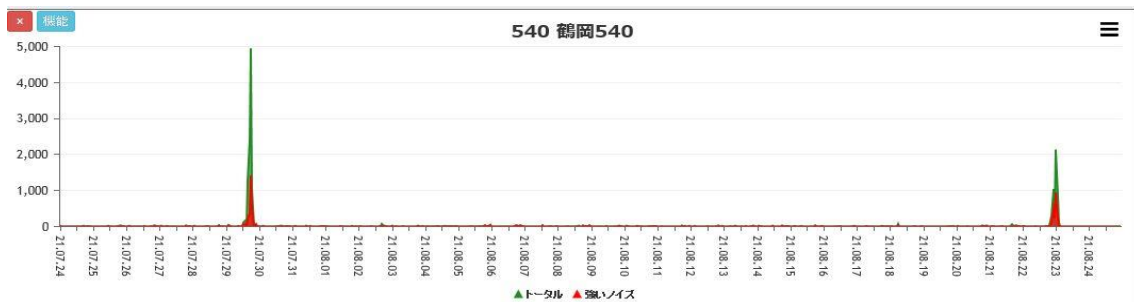


2、関東周辺の同期した1本立ち

関東周辺の多くの観測点に昨日から同期した1本立ちが見られます。まずは雷雲の関連が考えられますが、世田谷などでははっきりした雷雲は無く、またすぐ近くの観測点に出なかったり、タイミングがずれていたりして、あるいは地震性のデータかもしれません。さらに狭山観測点に幅のある大きなデータが出てきていますが、これも単独なのでこの先の動きと周囲のデータを注意していく必要があると思います。

前述1、の中部～関西地区の広く同期した減衰と合わせて考えて、大型の地震に注意していきたいです。

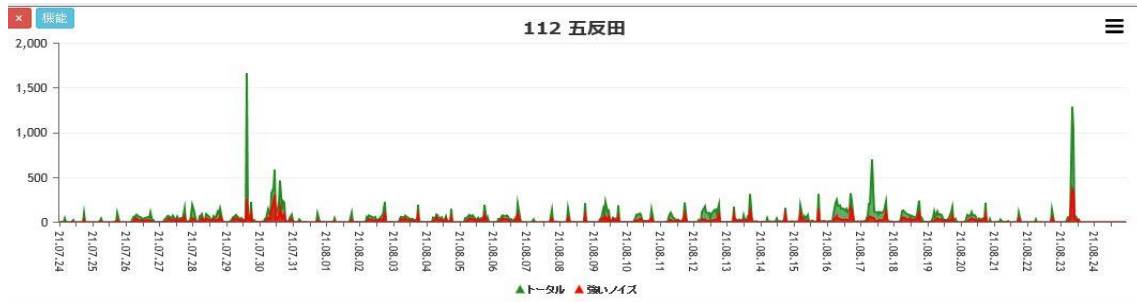
鶴岡



世田谷



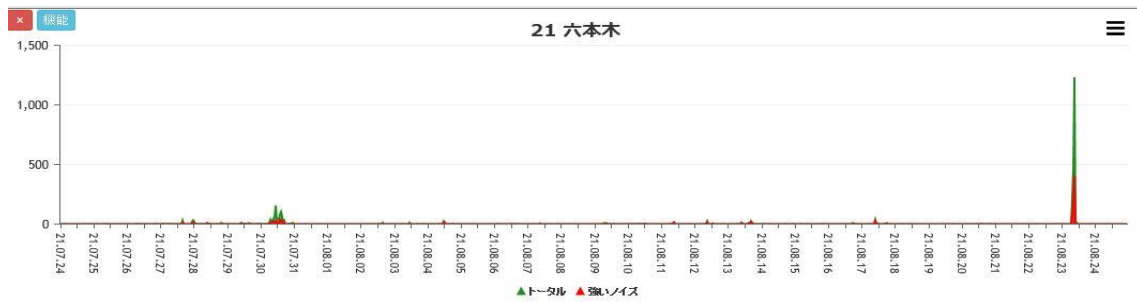
五反田



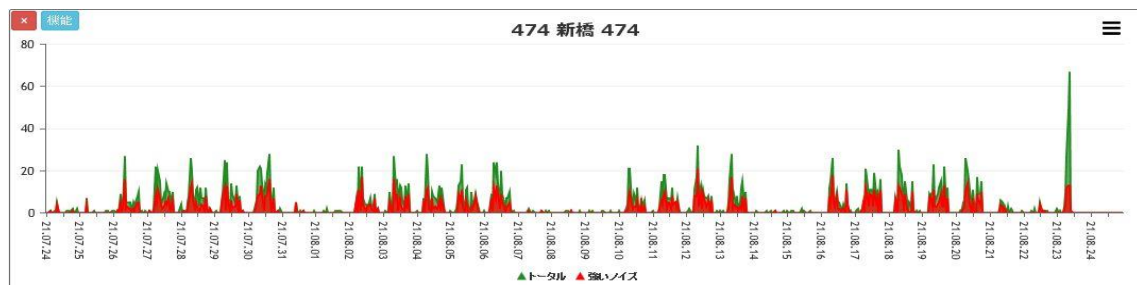
市川



六本木



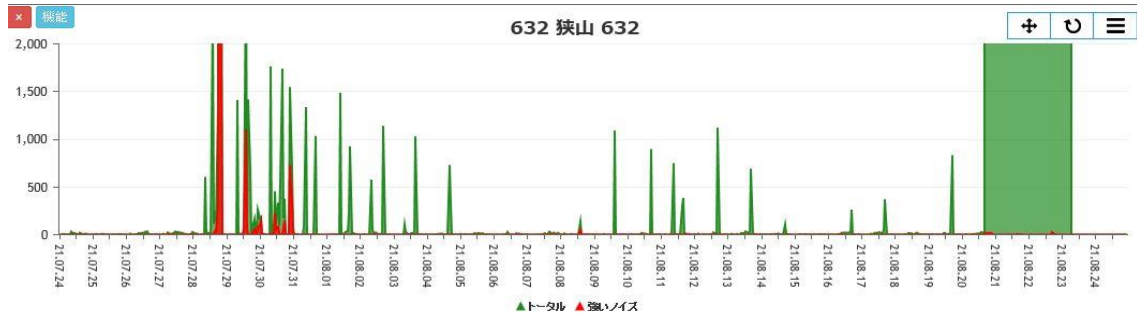
新橋



日光



狭山 幅のある1本立ち



練馬

